



大切な人とあなたの人生会議

人生会議とは、もしもの時に備え、本人の意向が尊重された医療・ケアが提供されることを目指して、医療・ケアについての希望や思いを家族や医療・介護スタッフとともに話し合い、共有しておく取り組みです。この記入シートは人生会議を円滑に進めるためのコミュニケーションツールであり、話し合いのきっかけや道しるべとなるよう作成しました。

対象

※ 元気な人でも使えます（もしもの時を想定して考える）

合計 10 項目の質問、4 つのカテゴリーで構成されています。

- | | | |
|------|-----|---------------------------|
| Q1～4 | ・・・ | 「価値観や気がかり」 |
| Q5 | ・・・ | 「代わりに考えてくれる人（代理意思決定者）の選定」 |
| Q6～7 | ・・・ | 「健康状態への理解」 |
| Q8～9 | ・・・ | 「将来の医療・ケアへの希望」 |

本人、代理意思決定者、医療・介護スタッフ

※ 医療・介護スタッフは全体を通して参加するのが理想的です。すべてに同席が難しい場合でも、最初の導入時の説明やQ6以降の部分にはできるだけ同席し支援しましょう。

本人や家族が今後について考えたいと思っている時がベストですが、心身の状況等に変化がみられた時も、切り出しやすいタイミングです。

- ・ 介護保険申請時
- ・ 在宅療養を始めた時
- ・ 介護度が上がった時
- ・ 入退院等、体調が変化した時

等

- ・ 病気の診断直後
- ・ 体調が不安定な時
- ・ 手術の前後

等

話し合いを切り出す際の注意点

① 自然な話し合いを心がけ、本人を緊張させない

「どの方にも、このようなお話しをしているのですが・・・」と、特別な話ではないことを伝えましょう。また、「もしもの時に備えるため」という側面を強調しすぎると、本人は希望が持てず、話し合う意欲を失ってしまうことがあります。

② 人生会議の前向きな側面に焦点を当て、話し合いのメリット等を伝える

- ・ 本人のメリット : 将来の医療・ケアに自分の意向が反映されやすくなる
- ・ 家族等のメリット : もしもの時、本人がどんな医療・ケアを望むのか考えやすくなり、代わりに考える際の精神的負担が軽くなる

話し合いのポイント

☑ 「決める」より、「話し合う」が大切

急変時の具体的な対応方針を決めたくになりますが、気持ちは揺れ動きやすいものです。人生会議の土台となる“本人の価値観”に焦点をあてて、繰り返し話し合うことが大切です。

☑ 本人と医療・介護スタッフとの信頼関係が話し合いの土台として必要

初対面でいきなり価値観に触れる話し合いは難しいかもしれません。信頼関係を構築しながら、話し合いが出来るタイミングを待ちましょう。

☑ 本人と代わりに伝えてくれる人が話し合っておくことが大切

身近にいる家族でさえ実は思いが伝わっていないこともあります。「以心伝心」を期待せず、ぜひ日頃から代わりに伝えてくれる人と話し合っておくことを勧めましょう。

☑ こちらの価値観を押し付けない

医学的な最善が本人にとっての最善とは限りません。治療や療養場所の選択だけが目的ではなく、どのような生活を送りたいかを一緒に考えることが大切です。

☑ 多職種によるアプローチが重要

日々の何気ない会話の中に、本人の思いが表れることが多々ありますので、各職種でこまめに情報共有しましょう。また、役割分担を行い、チームアプローチを心がけましょう。

☑ 繰り返し、考え話し合う機会を持つ

病状や気持ちの変化に応じて、思いも変わっていきます。思いの変化を許容しながら、定期的に（誕生月等）、考え話し合う機会を持ちましょう。

☑ 本人が消極的な姿勢を見せたら、無理をしないで中止する

中止した上で、話し合いを希望しない理由を聞いておきます。その理由に本人の価値観が表れることがあります。

☑ 法的な効力は持ちません。



「手引き 詳細版」

※ より詳しい解説を記載した「手引き 詳細版」は
吹田市HPからダウンロード可能です

吹田市 私の思い記入シート

検索

吹田市健康医療部
保健医療総務室
2023年4月作成